

# さくら通信

## スポーツの秋

獣医師 津田

ワンちゃんとハイキングや登山なんてどうですか？

ハイキングや登山に行くと、いつものお散歩と違った景色や匂いを感じることができ刺激になります。津田家のむぎちゃん(5歳の女の子)も自然の中を歩いているととっても生き生きとします！しかしマナーや注意点もいくつかあるので、その一部を紹介します。

### 山や森には危険もいっぱい！

虫に刺されたり、怖い感染症になってしまう危険があります！

- ノミ・マダニ→事前に予防薬を使いましょう。
- レプトスピラ症→ネズミの尿に汚染された川の水などから感染します。当院では犬8種混合ワクチンを打つことで発症または重症化を防ぐことができます。



### リードをしっかりつけましょう！

時々ノーリードで登山をしているワンちゃんを見ますが、何かに驚いたり、刺激的な匂いがしたら急に走り出して飼い主の近くを離れてしまう可能性があります。山や森で迷子になってしまったらどんなに賢いワンちゃんでも帰ってくる保証はありません。また、すれ違う人全員が犬好きとは限らないのでリードは必ずつけて短く持ちましょう。

### 長距離ドライブになることもしばしば…

車酔いの対策としては

- いつもより優しく運転する。
- ご飯は出発の2~3時間前に済ませておく(過度な空腹も良くない)。
- 窓を開けて適度に換気をする。
- ワンちゃんの顔色を見ながら適度に休憩をとる(気持ち悪いとパンティングやヨダレが出てきたりします)。

むぎちゃんは30~60分で車から降りして休憩をとっています！慣れや個体差もあるので少しずつドライブの距離を延ばしてあげてください。



※ペット禁止の山も多いのでしっかり下調べをしてから行きましょう！

# 動物看護師のお仕事とは？



突然ですが、動物看護師が病院で実際どんな仕事をしているのかをご存じですか？

なかなか知る機会がないと思うので今回はさくら動物病院での看護師のお仕事を7つに分けてご紹介します。

## ① 受付対応

お会計はもちろん、飼い主さんとのコミュニケーションを取る中で信頼関係を築く大切な仕事です



## ② 動物の保定

検査や治療の際に動物が動かないようにおさえて獣医師をサポートします



## ③ 検査

血液や尿や便などを様々な検査機器を使って異常がないか調べていきます



## ④ 手術のサポート

手術の準備を行ったり手術中も獣医師をサポートします



## ⑤ 入院動物の管理

病状を把握し入院している子のお世話をします。小さな変化も見逃さないよう目を配り何かあれば獣医師に報告します



## ⑥ 採血や治療

獣医師の指示の元必要な採血や治療等を行います



## ⑦ シャンプー・トリミング

当院では病気等の理由からサロンに行けない子たちの為に医療トリミングを行っています



この他看護業務以外にも物品の発注管理や事務作業など仕事内容はとても幅広くあります。

動物看護師は 2022 年度に国家資格となり業務範囲はさらに大きく広がりました。そのことでより一層やりがいを感じているとともに、責任もより大きく感じています。これからも動物と飼い主さんの気持ちに寄り添いながら獣医師のサポートもこなす動物病院の何でも屋として日々励んでいこうと思います。

動物看護師 荻原



# 犬の分離不安症

## 分離不安症とは？

犬が飼い主と離れることに強い不安や恐怖を抱いてしまう状態のことを言います。

猫とは違って群れで生活する習性がある犬は「独りぼっち」という状況が苦手なため、このような精神的疾患にかかりやすいと言われています。

## 症状

- ・吠えたり鳴き続けたりする
- ・室内の家具や物を破壊する
- ・粗相や食糞行動をする
- ・過剰なグルーミングや自傷行為をする
- ・飼い主がいるとき、常に目で追ったり後ろをついて回る
- ・お留守番中に下痢や嘔吐をする
- ・大量のよだれを流す
- ・食欲不振になる



## 原因

- 遺伝によるもの
- 子犬期の社会化不足
- 引っ越しや同居動物が増えるなどの環境の変化
- 雷・地震などによる留守番中のトラウマ
- 飼い主の過保護・過干渉
- 加齢や脳の疾患によるもの

etc…

## 対策・治療方法

### ● トレーニングによる対策

#### ・日頃からひとりにさせるタイミングを作る

一日のどこかのタイミングで別室に行くなど、常に一緒にいなくてもリラックスできるように、ひとりでいる環境に慣れさせてあげます。

いきなり長時間からではなく、1～2 分くらいの少しの時間から、飼い主さんと離れる時間を作って、徐々に伸ばしていきましょう。

#### ・お留守番を感じさせないようにする

お留守番するときは、飼い主の行動で気づいてしまう犬も多いです。(メイクをし始める・上着を羽織る 等)

「出かける 30 分前くらいに支度を済ませ、その格好でしばらく過ごす」

「出かける用事がない時も、お出かけの格好で過ごす時間を作ったりする」など

上記を行うと『身支度』=『お留守番』という風に結びつかなくなり、愛犬の緊張を抑えることができます。

また、お留守番前後は過度に構ったりせず、何も言わずに出ていき、素知らぬ顔で帰ってくるようにしましょう。

飼い主がお留守番前後の起伏をつけてしまうと、犬の不安や緊張を増長させてしまう原因になってしまいます。

『お留守番』は特別なことではなく、日常の延長線という風に愛犬にインプットさせてあげることが大事です。

クレートやケージでのお留守番をさせる場合は、クレートトレーニングから始めると Good !

(クレートトレーニングについては長くなるので割愛します…！)

### ● 薬による対策

あまりにも分離不安の症状が酷い場合や、分離不安の原因が認知症などの加齢によるもの場合は、認知症対策や抗不安効果をもつ薬・サプリメントを使用することもできます。

その子の症状に合わせて処方させて頂きますので、お悩みの方は獣医師にご相談ください。



分離不安の原因や症状は多岐にわたるため、その子によって合う対策が変わっていきます。

今回ご紹介したものは代表的な一部の例です。どうしても改善が見られないなどお悩みのある方は、獣医師やドッグトレーナーなどにも相談してみて、その子のベストを探していきましょう！

動物看護師 田井

## 【当院の幹細胞治療】

「オラに元気を分けてくれ！」…この台詞は国民的漫画・アニメの「ドラゴンボール」のものですが、強敵からダメージを受け窮地に追い込まれた主人公が、周辺の自然や生命から少しずつ元気（エネルギー）を分けてもらって形勢逆転の奥義を発動させるときに発するものです。と、唐突な書き出しになりましたが、私は「幹細胞＝小さな元気の素（元気玉）」で、幹細胞治療はそんな台詞に通じるところがある、と思っています（あくまで私個人のイメージです）。

人間や動物の身体の中には、「身体が元気になるため・病気を改善するため」に働く「間葉系幹細胞」という幹細胞が備わっています。この幹細胞は様々な栄養因子や免疫系への命令物質を大量に放出するので、これらを受け取った細胞や組織を元気にしたり免疫を適切に調整してくれます。また、幹細胞は自らの中にある生命エネルギーを作り出す装置・ミトコンドリアを他の必要な細胞に分け与えることもしてくれます。必要になれば、骨、軟骨、肝臓、神経のような別の細胞に変身することさえできます。これらのようにして身体の元気・健康に貢献する細胞なのです。この幹細胞は全身に存在していますが、数はそんなに多くはいません。若いとき、健康なときには問題ないのですが、歳をとったり難しい病気になった場合には、幹細胞の数やパワー（機能）が下がって不調等に十分に対応できない場合が出てくる可能性があります。そんな時に動物に耳を傾けると、もしかしたら冒頭のような言葉を訴えているかもしれないですね。

簡単に言えば、幹細胞治療は、弱っている患者様に小さな元気の素（元気な幹細胞＝小さな元気玉）をたくさん分け与えてあげて、不調・病気などの強敵に何とか打ち勝ってもらおうと手助けをすることです。当院の元気な幹細胞は、周りの若くて健康な動物たちから少しずつ分けてもらっています。ただ、治療で使うためにはそのままでは数が少ないので、「培養」という特殊な作業で、パワーを維持したまま大量に増やします。そして調剤して治療に提供します。普段、飼い主様方のお目に触れることはありませんが、これらの作業は当院2階の最奥の部屋で私が大事に行っています。患者様がより元気に改善されることを期待します。



## 【効果が期待できるおもな疾患】

- ・ 組織臓器の炎症性の疾患（アトピー性皮膚炎、膀胱炎、肝炎など）
- ・ 進行性変性性の臓器疾患（慢性腎臓病、慢性肝疾患など）
- ・ 脊髄・中枢神経系の疾患（脊髄損傷、脳炎など）
- ・ 自己免疫疾患（免疫介在性多発性関節炎、ドライアイなど）
- ・ 潰瘍・損傷（角膜潰瘍、角膜欠損、皮膚潰瘍、創傷など）
- ・ 血管新生・伸長目的（血管不足、血管梗塞・閉塞、手術・処置後の補助など）
- ・ 身体の衰え（アンチエイジングなど）

再生医療部門・培養担当 横関

SAKURA ANIMAL CLINIC  
**さくら動物病院**  
長野どうぶつ眼科センター(併設)

**休診**：火曜日／第四日曜日／  
木・土・日・祝祭日の午後

ホームページはこちら！  
獣医師出勤表、お知らせ随時更新中！



休診日・午後休診は  
当院のホームページまたは  
お電話にてご確認ください。